

用語	英語	定義・土木学会(岩盤力学委員会)小委員会	定義・JIS	定義・AGS	定義・土研	技術士制度における総合技術監理部門の技術体系(技術士会)
リスク	risk	岩盤崩落という事象がある発生確率によって、被害を受ける可能性のあるリスク因子のもとで発生したとき、その被害を受けた結果と発生確率とを組み合わせコストとして評価したものをいう。	事態の確からしさとその結果の組み合わせ、又は事態の発生確率とその結果の組み合わせ。	健康、財産もしくは環境に対する悪影響の発生確率と度合いの基準。リスクは発生確率×損害の積で評価される。但し、リスクのより一般的な解釈には、積によらない、確率と損害との比較も含まれる。		リスクという概念は、共通の性質として次の2つの性質を含む。 ①その事象が顕在化すると、好ましくない影響が発生する。 ②その事象がいつ顕在化するかが明らかでないという、発生の不確定性がある。 すなわちリスクは、以下の様に表現される。 リスク: $R = C \times P$ 、 $P > C$:被害規模(影響の種類と大きさ)、 P :発生確率(定性的、定量的)
リスク移転	risk transfer	将来予測される損失の負担を他者と共有、すなわち保険や他の契約などで担保することをいう。	特定のリスクに関する損失の負担を他者と分担すること。			被害規模が大きく発生確率が小さいリスクは、その対策費用が高額になる事が多く、その投資負担に耐えられないと判断される場合、保険を掛けることによりリスクの転移を図る。
リスク回避	risk avoidance	リスクのある状況に巻き込まれないようにする意思決定。またはリスクのある状況から撤退する行動をいう。	リスクのある状況に巻き込まれないようにする意思決定又はリスクのある状況から撤退する行動。			特に新たな事業の開始時における判断として採られる対策である。リスクアセスメントによってリスクレベルが高く、その改善策が無いと判断される場合には、新規事業への参入自体を回避するという意思決定を行う場合がある。
リスク基準	risk criteria	リスクの重大さを評価するために適用される尺度で、安全性、信頼性、関連する経費、法律及び法令による要求、社会経済及び環境に関する優先関係の関心ならびにアセスメントに対する優先順位などを含む指標がある。	リスクの重要性の度合いを評価するときの参考となる条件。			リスクの重大さを評価するときには参考となる案件のことであり、関連経費及び利益、法律および法令による要求、社会経済および環境側面、関係者の関心並びにアセスメントに対する優先順位や他の入力要素を含む場合もある。
リスク保有	risk retention	発生確率が低くリスクも小さい場合に、その損失を負担する対応をいう。	特定のリスクに関する損失の負担の受容。			特定のリスクから結果的に生じる損失負担及び利益を受容することをいう。リスク保有は認知されていないリスクの受容も含んでおり、受容の度合いは様々であり、リスク基準に依存する。
リスクマネジメント	risk management	リスクの最小化・最適化を目的として組織や事象を指揮・管理し、リスクを変更させるための対策を検討、選択、実施する全てのプロセスをいい、リスクアセスメントにおける費用便益分析を参考にしたどのような事前の対策が合理的かについて、社会的な合意が得られるような対策を講じるための技術である。	リスク査定とリスク制御(もしくははリスク対策)の全過程。			リスクの総合管理技術としてのリスクマネジメントは、企業などの組織、あるいは組織の活動に潜在する不確定性のある事項を整理・分析し、組織のリスクの範囲で最適な対処法を検討・実施することである。
リスク分析	risk analysis	利用可能な情報を系統的に用いてリスク因子を抽出・特定し、リスクを算定するもので、岩盤崩壊の事象がどこで発生し、どのような結果になりうるのか一連の事象の発生確率はどの程度か、誰にどのどのような損害や損傷が及ぼるかを、さらに各リスクを算定するプロセス。		個々もしくは地域住民、財産或いは環境に対する災害リスクを予測するための、入手可能な情報の利用。通常の場合、リスク分析には、分析対象の特定、災害の想定及びリスク評価が含まれる。		
リスクアセスメント	risk assessment	リスク分析からリスク評価までの全てのプロセスをいい、リスク基準と比較し、危害の重大さやリスクを総合的に評価する技術。		リスク分析とリスク評価のプロセス。		主な内容はリスク分析とリスク評価。
フラジリティカーブ	fragility curve	降雨量と斜面の壊れやすさの関係曲線。			構内に誘引の大きさを取り、縦軸に斜面の崩壊率を取るグラフ上での両者の相関曲線。	
リスクコミュニケーション	risk communication	事業者や行政などの意思決定者と専門家や一般市民などの他の関係者との間におけるリスクに関する情報の交換または共有を目的として、情報の送り手・受けて・内容・媒体などを検討する技術。				リスクの性質、大きさ、重要性、その制御に関して利害関係のある者が情報を交換すること。
リスク最適化	risk optimization	特定のリスクの発生確率の低減や被害の減少を図る対応によって、リスクを最小化することをいう。				
密視リスク		リスクアセスメントで評価された確率・統計的なリスク。				
主観リスク		個人的、社会的、文化的、環境的、歴史的に、恐ろしさ・未知性・災害規模・災害特性などからイメージされるリスク。				
シナリオ	scenario	災害履歴、技術者の経験、プレーストリーミング法、KJ法、アンケートをベースにした方法などで不確実な将来を予測するものである。				
ステークホルダー	stakeholder	リスクに影響を与えたり、リスクの影響を受ける関係者をいう。例えば事業者、管理者、利用者、国民、政府、社会全般などが該当する。				
リスクカーブ	risk curve	想定被害額と発生確率の関係曲線。				原因事象から結果事象への事象連鎖や展開
継続的改善			組織のリスクマネジメント方針に沿って全体的なリスクマネジメントパフォーマンスの改善を達成するためのリスクマネジメントシステムを向上させるプロセス。			

